



森ボラ 通信

第267号 2024年8月20日発行
NPO法人 **北海道森林ボランティア協会**
URL <https://www.shinrin-npo.info/>
札幌市豊平区平岸1条1丁目8-8 ラルズ生活研究センター
TEL (fax.): (011) 816-7010
E-mail: hshinrinv2002@nifty.com

■ 活動報告

◆第3回親子森林教室 活動報告

草刈りを体験し、巣箱・クラフトを作り、コウモリ・ホタルを探索！

好天が続く少し乾いた感じがする澄川都市環境林で、7月14日（日）の午後2時から今年度3回目の親子森林教室が開催されました。参加したのは森しり隊員の子どもたち14名と保護者12名、協会員15名、総勢41名。昨年度まで森しり隊員として活躍し、今年度から晴れて協会員となった二郷雅広君もお母さんと参加し子どもたちの活動をサポートしてくれました。

教室はいつも通り朝礼・ラジオ体操から始まり、進行役の松藤さんは特に熱中症に気を付けるよう注意喚起しました。

最初の活動は草刈り体験です。大窪さんから木や森を育てるには色々な作業が手順に沿って行われることを、作業用具を紹介しながら説明を受けた後、子どもたちは鎌を載せたリヤカーを引いて駐車場向かいの植栽地に行きました。そこで荒船さんと二郷雅広君が手鎌を使って草刈りを実演し、子どもたちと保護者で区画割りされたエリアの草刈りを40分ほどやり遂げました。子どもたちからは、最初難しかったが、鎌の使い方に慣れて腰を低くしてやったら上手く刈ることが出来たとの感想がありました。



森の作業の1つ、草刈りを体験

広場に戻り、休憩を挟んだ次は森の木を使った工作です。コースは2つ、巣箱作りに7名、その他はクラフト作りに挑戦しました。巣箱作りは子どもたちが保護者と一緒になって金づちをトントン叩いて立派な巣箱が出来上がりました。出来上がった巣箱は澄川の森や自宅の庭の木に掲げます。今年は荒船さんがキットを丁寧に作ってくれたお陰でだいぶ早く出来上がりました。



森の木で工作：クラフト作り(左)と巣箱作り(右)

クラフト作りもあらかじめ用意した木っ端や小枝、花柄などをグルーガン糊で貼りつけて、イモムシ、ペンダント、コウモリ、イカダ、ウサギとたくさん出来上がりました。“自然”と銘打った独創的な作品もありました。

その後、4月に植菌して仮伏せしていたホダ木を皆で運んで本伏せし、早めの夕食と恒例のスイカを味わいました。

次はいよいよ夜の部です。昨年度はヒグマ騒動で中島宏章講師のコウモリの話で終わりましたが

今年度は十分注意を払って夜の森を歩いてコウモリ探索とホタル観賞までやることにしていました。加えて、コウモリの捕獲もしかるべきところに許可を得て試みることにしています。未だ明るさが残るうちに中島講師はコウモリ捕獲用のカスミ網を広場と沼の間の空き地に丁字型にセットしました。そして広場に張ったスクリーンを背にコウモリの種類、生態などを映したスライドを見せながらコウモリのお話をしました。子どもたちは興味津々に聴き入り、中島講師の問い掛けにも元気な声が上がりました。



中島講師によるコウモリ捕獲作戦開始！

1時間ほどの話は瞬く間に終わり、森が暗さを増してきた頃、いよいよみんなでキャリコ橋に向かって歩き出しました。途中、羽化したばかりで薄緑色をしたエゾゼミを観察しながら、超音波探知機を使って空中を飛び交うコウモリを探しながら進みます。キャリコ橋に着きました。しかし、ホタルの光は見えません。今年はダメだろうか、と落胆する声が上がりが始めた時、「あ、光った！」と草むらに確かな光を見つけました。そのうちに、「こっちにも。」「あそこを飛んでいる。」と声上がり、公式発表では20匹ほどのホタルが見つかりました。コウモリの捕獲は残念ながら叶いませんでしたが、コウモリが出す超音波はしっかり捉えることが出来ました。そして、20時過ぎに長い一日が終わりました。(文・清澤)

◆水質調査の傾向、今年の特徴

今年2回目の調査は7月17日が雨で午後活動中止になり、追加調査を8月9日に終えたところです。森ボラ活動全体にもいえますが、水質調査は天候に大きく作用されます。森ボラでは生い茂るササと同様、雨は厄介ものです。

昨年7月と今年7月（追加調査8月を含みます）の調査結果を比較してみたいと思います。昨年7月調査で他の調査時と大きく異なっていたのはpH測定値でした。他より小さい値すなわち酸性よりでした。今年も同じ傾向が見られました。雨の影響かと考えてもみたのですが、昨年9月の雨続きの測定値が7月より大きい値であったことから雨の影響ではなさそうです。昨年と今年の猛暑の影響を考えるとよさそうです。昨年猛暑の影響としてビート糖度、生乳脂肪率、ソバ収穫量それぞれの低下が言われています。川の中の生き物に何かしらの影響があってもおかしくはないのではと考えています。それがpH値に反映すると素人考えです。

今年7月の目玉はキャリコ橋でのカワニナです。昨年の7コから62コ確認の大躍進です。木道の架け替えで川水の濁りがなくなりました。流れがのびやかになったように見えます。ホタルの生存にも良い影響を与えてくれることを期待できそうです。上流では、エゾサンショウウオのオタマジャクシが、最下流ではフクドジョウ（体長12cm）がいました。9月に3回目調査を行います。どんな変化を観ることができるか楽しみです。(文・本郷)



たくさん見つかったよー！カワニナ



最上流での調査の様子

◆野幌森林公園復興支援事業

2018年秋森林公園は強風により大きな被害を受け倒木地帯が広がり攪乱状態となりました。その後行政による復興再生支援事業が始まり森ボラも参画して植林作業に入りました。

2020年から道有林担当区の草刈り地拵え、松や広葉樹の植栽が始まりました。オイスカや森しり隊が植樹祭と銘打ち、近自然森造り協会の岡村先生の指導の下、下草刈りを軽減するため防草シートを使用した植栽法です。鹿や野ウサギの食害から苗を守るために防獣ネットやハイトシェルターを取り付けました。高さ1.7mのシェルターはかなり効果があり成長した枝の先端が顔を出すようになりました。

森林公園は水が豊富で苗も雑草も成長が早いようです。特にヨモギや朝鮮アザミが人の背丈を越え、自生の柳やヤチダモ、ハリギリも目立ちます。

2022年からは国有林も同様に植林が始まりました。地拵えと植栽と育樹作業はこれからも続きます。森造りは地味な作業ですが皆さん敬遠せずにご参加ください。野幌原始林は珍しい巨木や野草も豊富です。(文・加藤)



見事に育った2020年植樹の刈り、刈り拵



今秋植樹予定の国有林50林班草刈り作業



日本道路社員と協力してハイトシェルター設置

■ 澄川の自然 60

ツノハシバミ(角榛・カバノキ科)

今年はツノハシバミの実が結実する条件が揃った年だったのでしょうか。

春から花が咲いた！ 実を付けた！と、仲間内でわいわい嬉しがっていました。

ところが、思っている以上に実を付けています。又、知っている限りの場所の木や、今まで実を付けた事のない木にも実が付いているのです。

今までは、2つ、3つ付いていて、気が付いたら無くなっていったという事ばかりでした。食べたことはありませんので今年は是非味わってみたいものです。

ヘーゼルナッツはセイヨウハシバミ(カバノキ科・ハシバミ属)の果実で、世界三大ナッツの一つ。日本に輸入されている95%はトルコ産。イタリアや日本国内(長野県)でも栽培されているとか。苗木を植えて3年程度で実がなり始め、約10年で成木になる。写真・文/西野(澄)



ツノハシバミの結実

右：ツノハシバミの堅果

左：セイヨウハシバミの堅果
(ヘーゼルナッツ)

■今月の幹事会

出席者(8/7):大窪・荻田・樫棒・清澤・松藤・矢野・西野(澄)・平・早坂・老田・丸尾

1. 2024年9月、10月活動スケジュール(9月幹事会9/4(水)):了承
2. 2024年度7月会計報告:了承
3. 2024年度多面対策交付金事業7月報告:了承
4. 親子森林教室第3回報告:了承
5. 来年度の親子森林教室:協会員は誰でもできるように。教室は午前中。午後は見学可。
一日一メニュー。通常の活動と並行運用。選択コース・終了証は廃止。さらに検討を進める。
6. 現場報告
 - ・整理伐状況:了承
 - ・西野第二環境林:標準地調査は2年毎としたい。了承
7. その他
 - ・森ボラホームページ進捗報告:7月の訪問数1,979件。了承
 - ・炭焼きイベント:8月24日早朝に着火。化粧炭の作成。バーベキューのみの参加OK。了承
 - ・森ボラ体験入会のお礼:神奈川県在住の女子大生が澄川、野幌国有林で活動に参加。
 - ・清澤さんご苦労さん会:10月の幹事会後に実施。幹事、親子関係者に呼びかけ。了承

■活動履歴

月日	行事・活動地	参加人数	活動内容
7月17日(水)	西野第二	13	枯損木処理、笹刈り、標準地調査
7月19日(金)	澄川	16	水質調査、草刈り、集材、竹支柱作り
7月22日(月)	野幌道有林	5	草刈り、植栽箇所竹支柱設置
7月25日(木)	澄川	15	F1整理伐、クズ処理、草刈り
7月28日(日)	澄川		雨天のため活動中止
7月30日(火)	有明第二	7	防獣網補修、植生調査、草刈り、倒木処理
8月3日(土)	澄川	13	F1整理伐、集材、草刈り、入会体験者案内
8月5日(月)	野幌国有林	9	下草刈り
8月7日(水)	ラルズ生活研究C2F会議室	11	8月定例幹事会
8月9日(金)	澄川	13	F1,2整理伐、水質調査、マキ作り
8月11日(日)	澄川	14	F1,2整理伐、炭焼き準備